

2008年3月期 中間決算説明会

ブラザー工業株式会社

2007年11月2日

この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関わるさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。

1. 連結決算概要 < 2008年3月期上期実績 >

単位：億円

	2008/3 上期実績 (A)	2007/3 上期実績 (B)	増減額 (C) (A)-(B)	増減率 (C)/(B)	為替影響 を除いた 実質増減率
売上高	2,783	2,569	215	8.4%	2.5%
営業利益	265	262	3	1.3%	
営業利益率	9.5%	10.2%	△ 0.7%	—	
営業外損益	△ 50	△ 20	△ 29	—	
経常利益	215	241	△ 26	△ 10.8%	
特別損益	13	13	△ 0	—	
法人税他	85	102	△ 17	—	
中間純利益	143	152	△ 9	△ 5.8%	

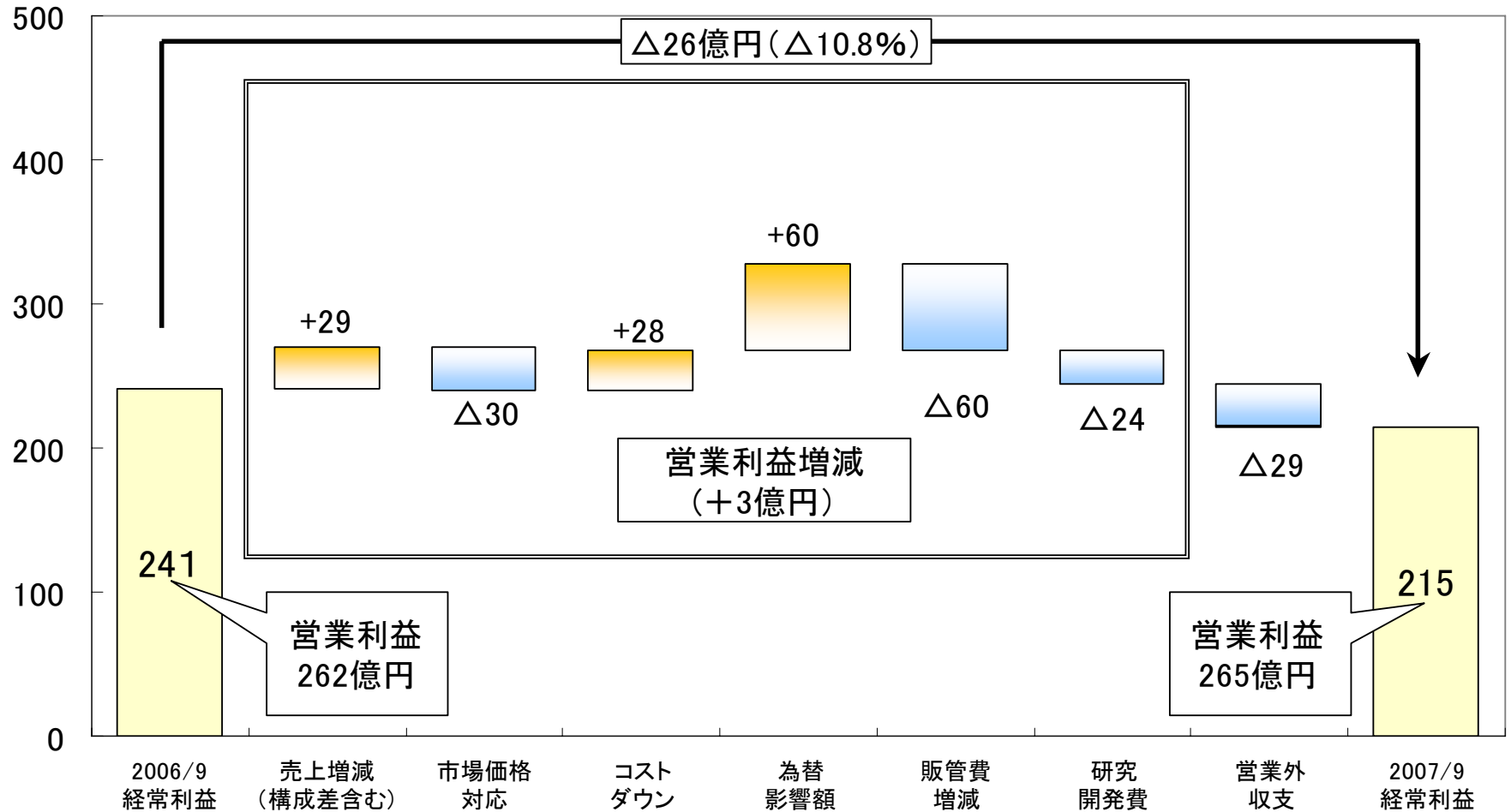
単位：円

換算レート	USD	119	116	3	2.9%
	EUR	162	146	16	10.9%

- 売上高は為替のプラス影響と通信・プリンティング機器が堅調に推移したことにより増収
- 営業利益は、研究開発費を含む販管費の増加があるものの、増収効果と為替のプラス影響により前年並み
- 主に営業外の為替差損の増加により、中間純利益では減益

2. 経常利益増減要因 <2008年3月期上期実績>

単位: 億円



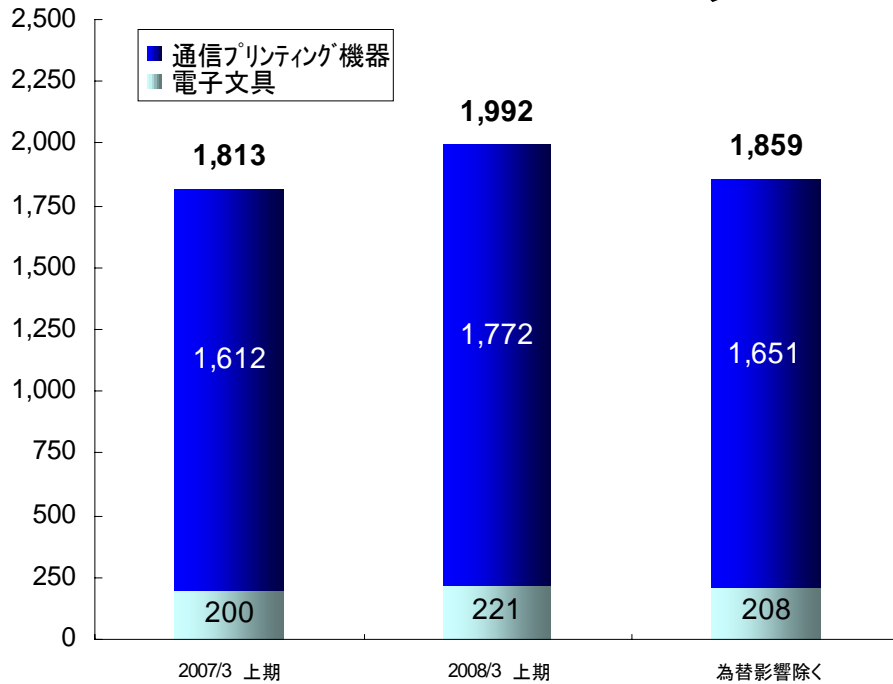
3-1-1. プリンティング&ソリューションズ事業 売上・営業利益 < 2008年3月期上期実績 >

増減率(為替影響除く)

通信プリンティング機器	+9.9%	(+2.4%)
電子文具	+10.1%	(+3.7%)
計	+9.9%	(+2.5%)

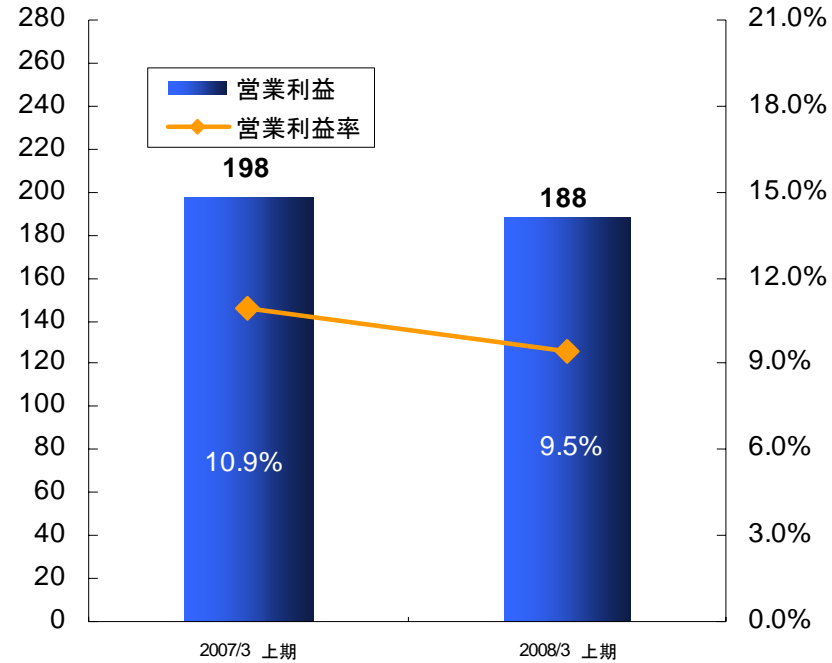
連結売上高

億円



営業利益

億円



- 通信・プリンティング機器は、OEM向け製品やサーマル事業が減少したものの、インクジェットおよびレーザー事業の増加により、全体では増収
- 電子文具は堅調に推移

- 増収効果と為替のプラス影響があるものの、研究開発費を含む販管費の増加により減益

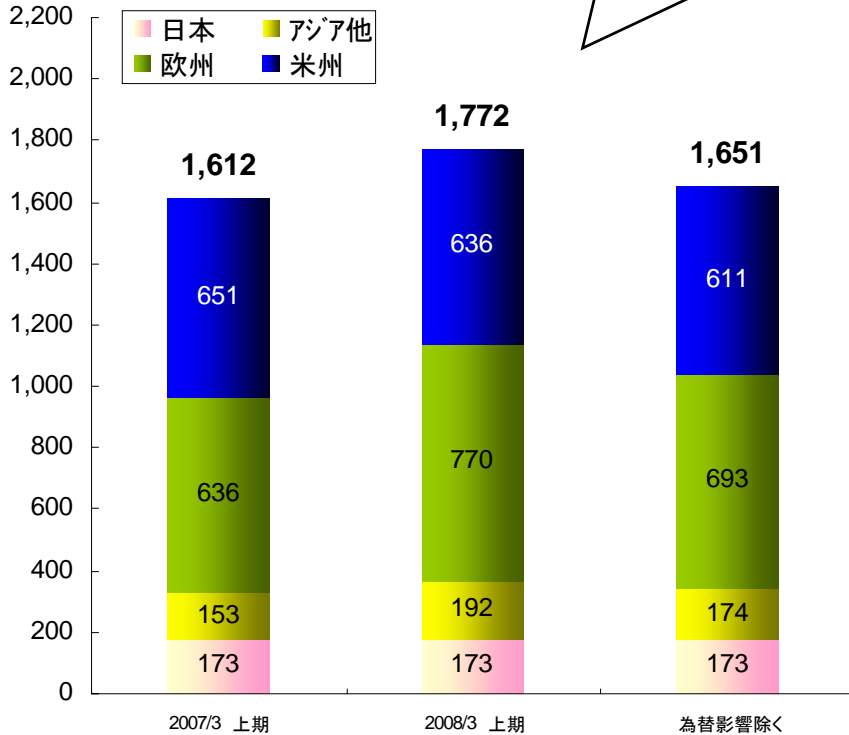
3-1-2. プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上高 < 2008年3月期上期実績 >

通信・プリンティング機器

増減率(為替影響除く)

米州	△2.3%	(△6.1%)
欧州	+21.1%	(+8.9%)
アジア他	+25.7%	(+14.0%)
日本	+0.4%	(+0.4%)

億円

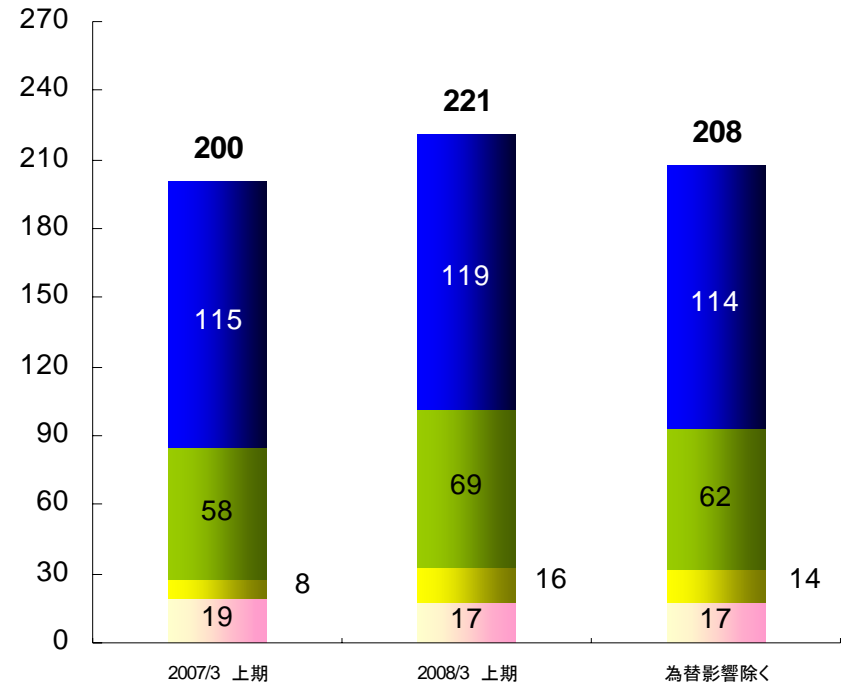


電子文具

増減率(為替影響除く)

米州	+3.2%	(△0.7%)
欧州	+19.0%	(+7.3%)
アジア他	+87.3%	(+68.9%)
日本	△8.8%	(△8.8%)

億円

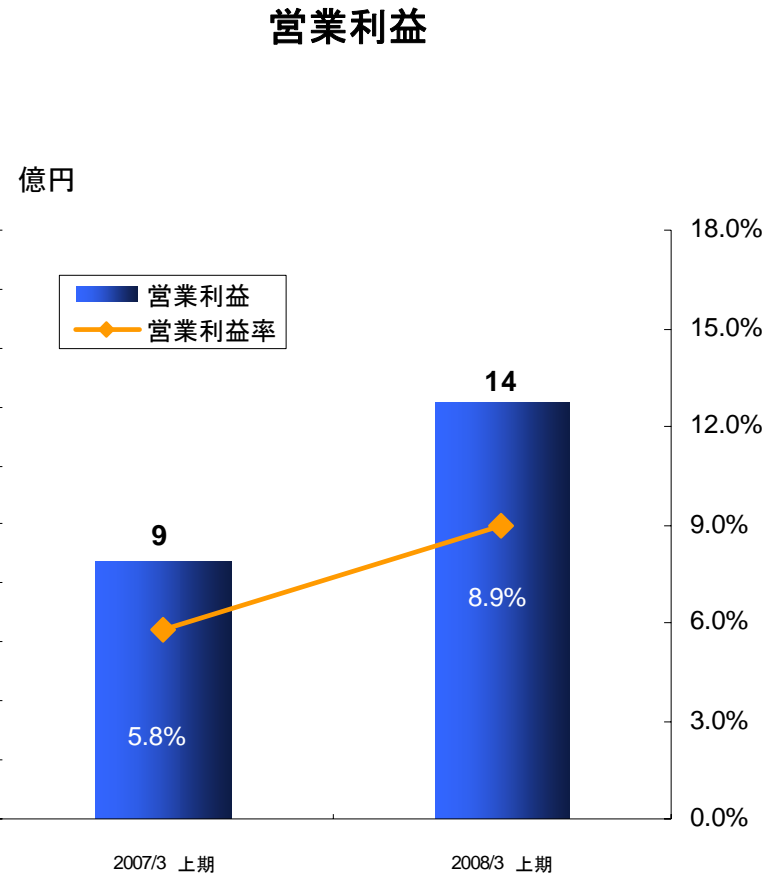
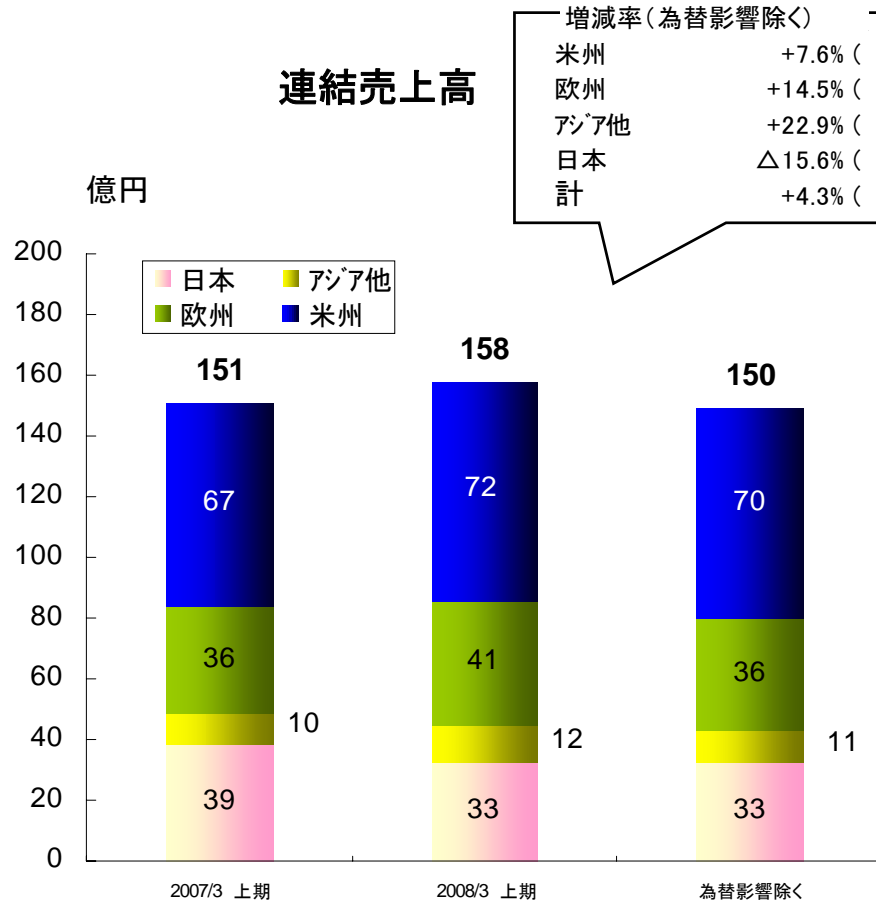


※2007年3月期に日本出荷として「日本」に計上していた部品売上は、商流変更により、2008年3月期より「アジア他」に含めております。

➤ 米州ではOEM向け製品などの減少により減収となったが、欧州とアジアで好調に推移

➤ 各地域で堅調に推移

地域別売上・営業利益 < 2008年3月期上期実績 >



➤ 日本で減収となったが、その他の地域では前年同期並に推移

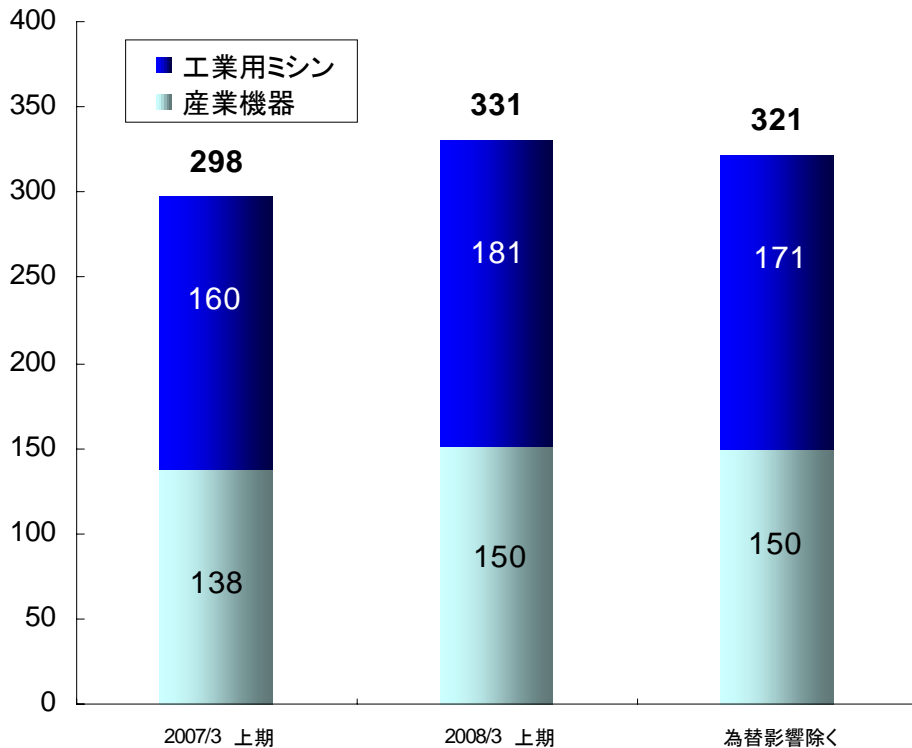
➤ 売上構成の改善により増益

3-3-1. マシナリー&ソリューション事業

売上・営業利益 < 2008年3月期上期実績 >

連結売上高

億円



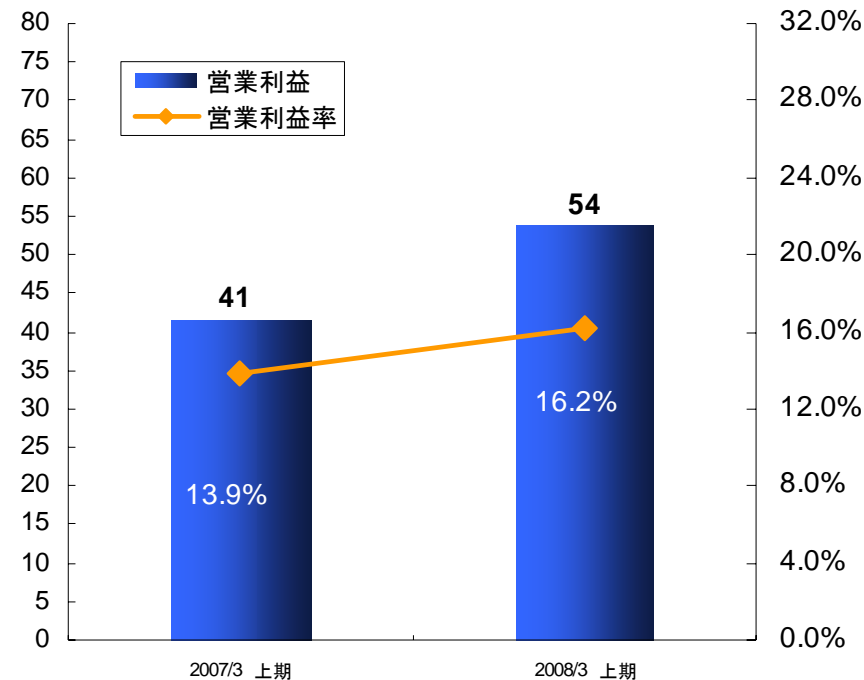
➤ 工業用マシン、産業機器ともに堅調に推移し増収

増減率(為替影響除く)

工業用マシン	+12.6%	(+6.9%)
産業機器	+9.3%	(+8.7%)
計	+11.1%	(+7.7%)

営業利益

億円



➤ 増収効果と売上構成の改善に加え、為替のプラス影響もあり増益

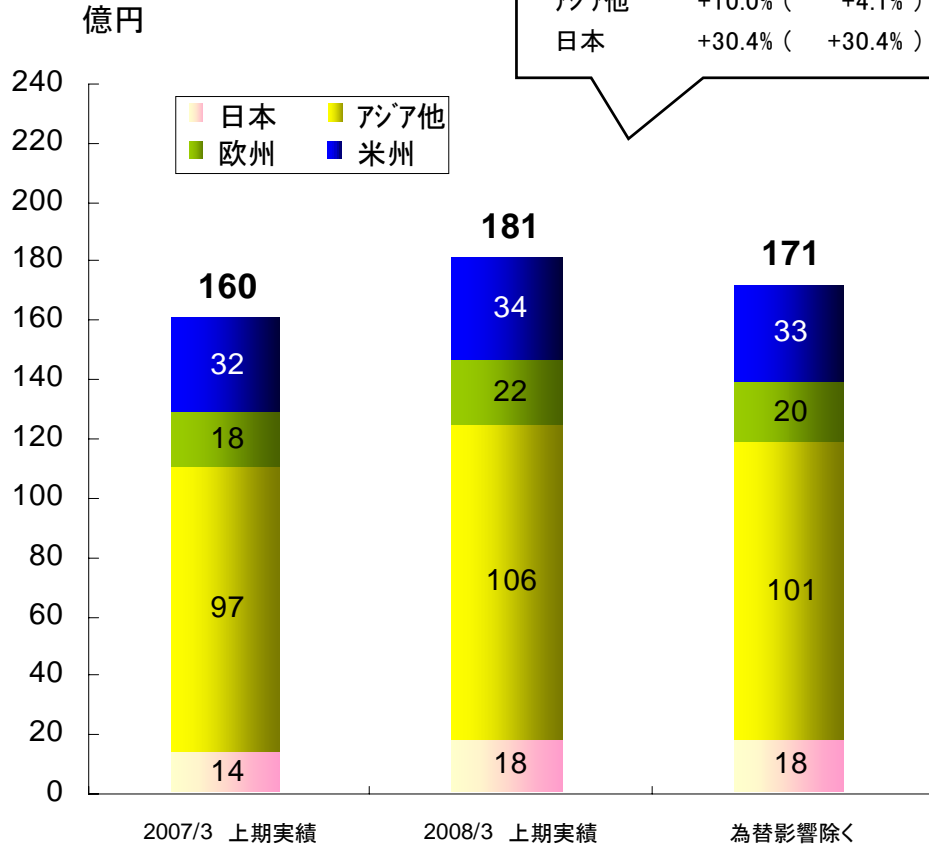
3-3-2. マシナリー&ソリューション事業

地域別売上高 < 2008年3月期 上期実績 >

工業用マシン

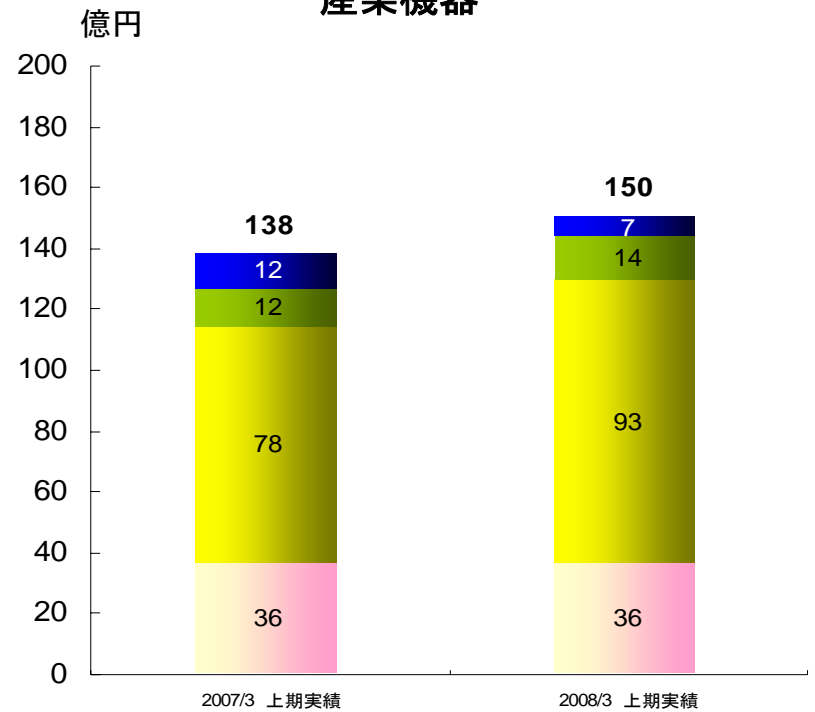
増減率(為替影響除く)

米州	+7.3%	(+3.4%)
欧州	+22.6%	(+10.2%)
アジア他	+10.0%	(+4.1%)
日本	+30.4%	(+30.4%)



➤ 中国、トルコ向けに堅調に推移

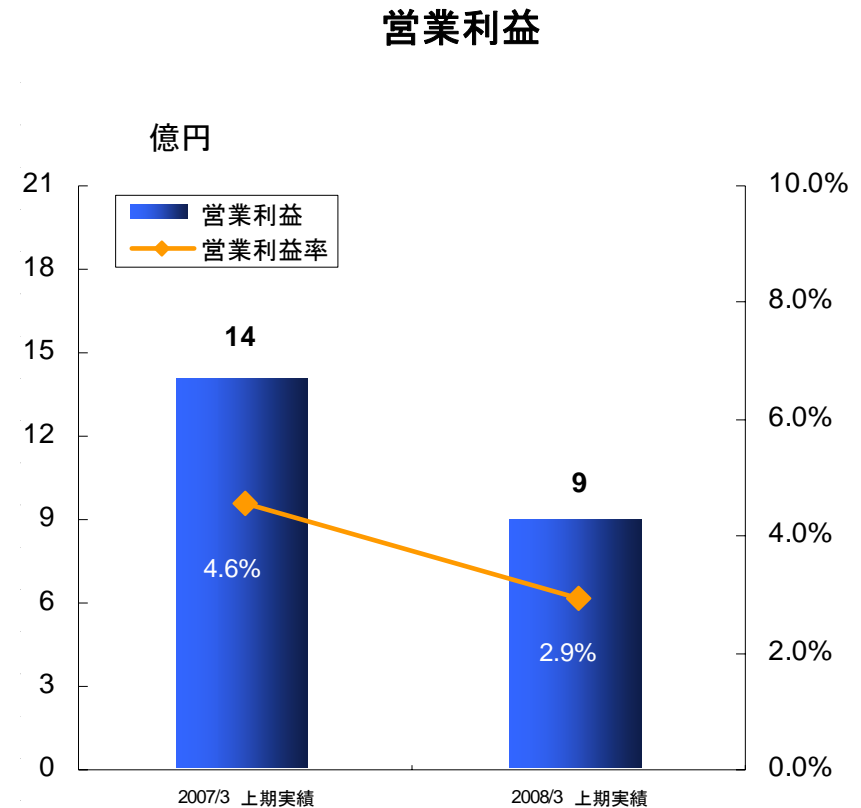
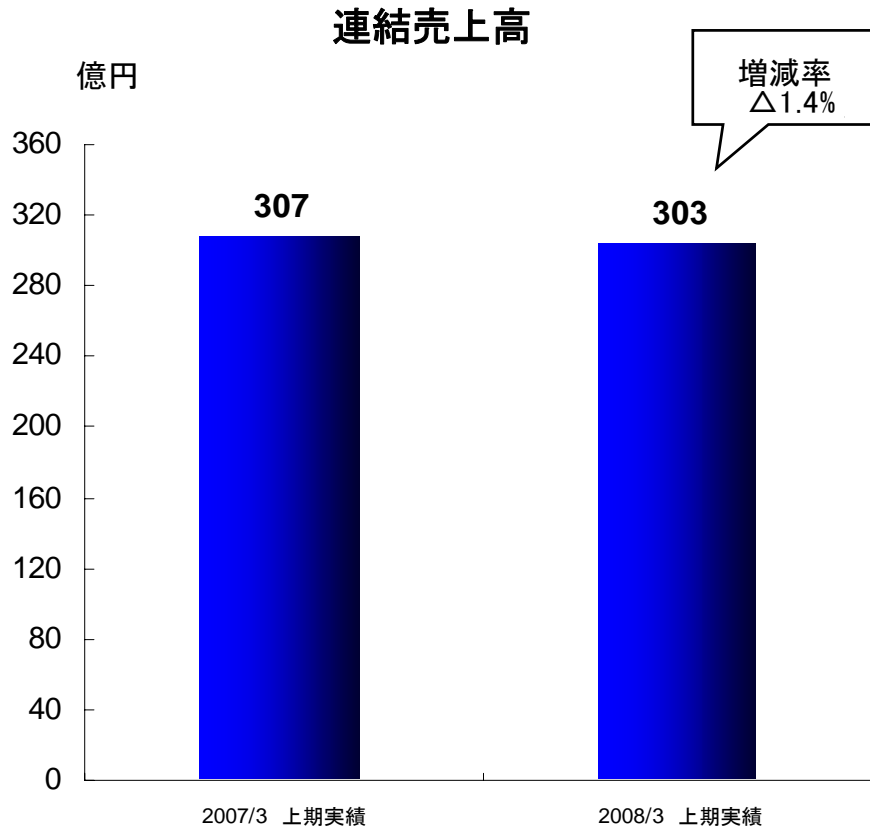
産業機器



※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

➤ 主に中国向けに好調に推移

3-4. その他事業 売上・営業利益 < 2008年3月期上期実績 >



➤ カラオケ事業買収効果があるものの、訪問販売事業譲渡などの減収要因により、全体では減収

➤ 通信カラオケ・コンテンツ事業で減益

※その他事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

4. 連結業績予想

<2008年3月期 通期予想>

単位：億円

	2008/3 予想 (A)	2007/3 実績 (B)	増減額 (C) (A)-(B)	増減率 (C)/(B)	為替影響 を除いた 実質増減率
売上高	5,850	5,623	227	4.0%	1.1%
営業利益	520	513	7	1.5%	
営業利益率	8.9%	9.1%	△ 0.2%	—	
営業外損益	△ 90	△ 58	△ 32	—	
経常利益	430	455	△ 25	△ 5.5%	
特別損益	10	3	7	—	
法人税他	190	169	21	—	
当期純利益	250	289	△ 39	△ 13.4%	

単位：円

換算レート					
換算レート	USD	117	117	0	0.1%
	EUR	161	150	11	7.2%

- 売上高は、為替のプラス影響と通信・プリンティング機器が堅調に推移することにより増収となる見込み
- 営業利益は、研究開発費を含む販管費と償却費の増加があるものの、増収効果と為替のプラス影響により前年並みとなる見込み
- 税効果会計の影響による法人税等調整額の増加などにより、当期純利益は減益を見込む

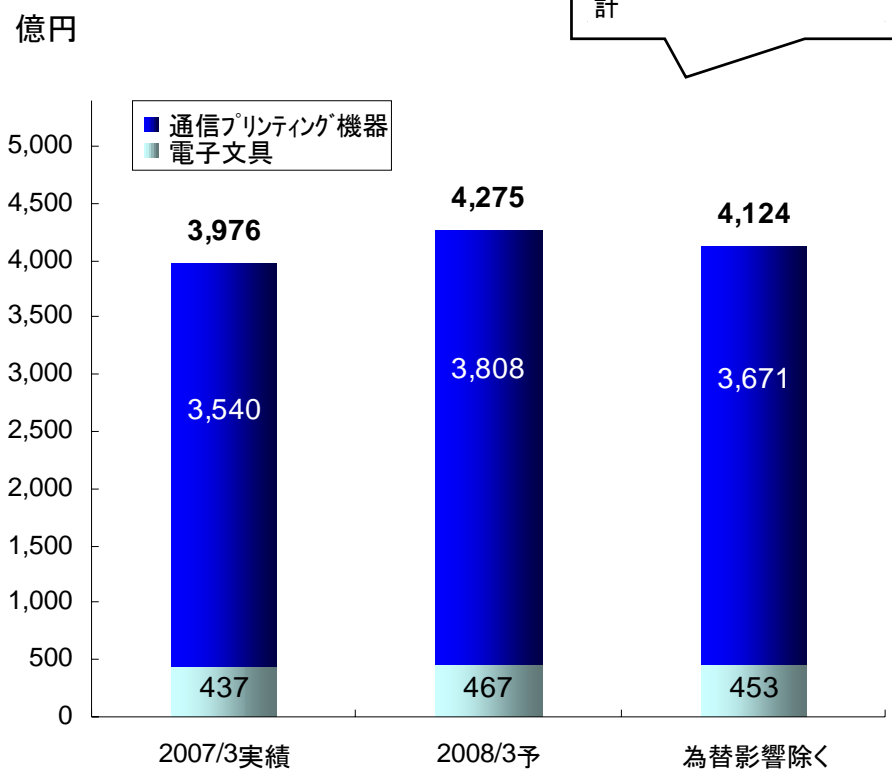
5-1-1. プリンティング&ソリューションズ事業

売上・営業利益 <2008年3月期 通期予想>

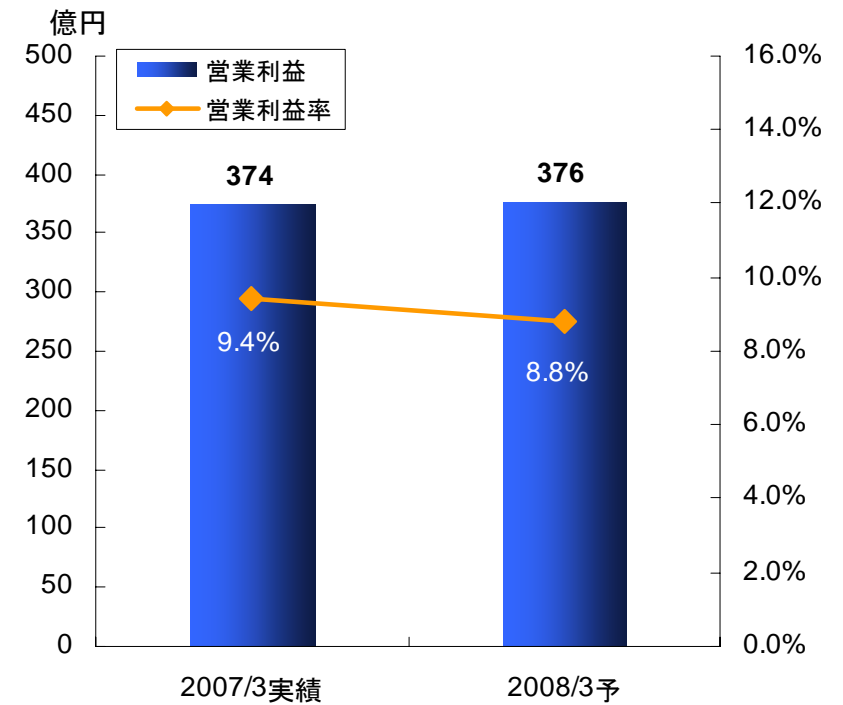
増減率(為替影響除く)

通信プリンティング機器	+7.6%	(+3.7%)
電子文具	+7.0%	(+3.8%)
計	+7.5%	(+3.7%)

連結売上高



営業利益



- 通信・プリンティング機器は、OEM向け製品やサーマル事業が減少したものの、インクジェットおよびレーザー事業の増加により、全体では増収
- 電子文具は堅調に推移する見込み

- 研究開発費を含む販管費と償却費の増加があるものの、増収効果と為替のプラス影響により前年並みとなる見込み

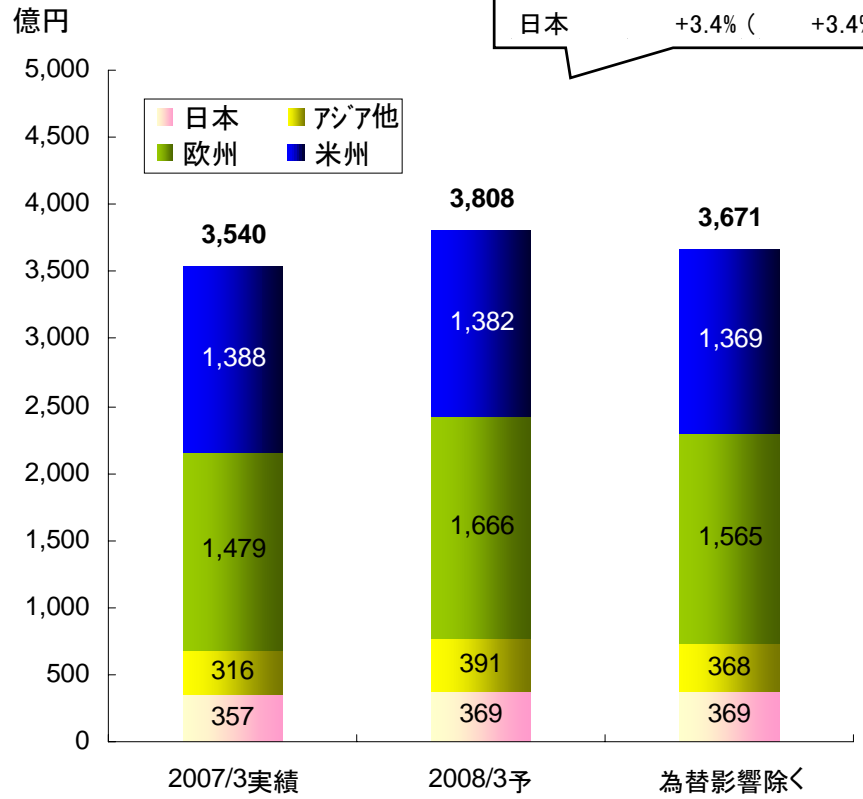
5-1-2. プリンティング&ソリューションズ事業

地域別売上高 <2008年3月期 通期予想>

通信・プリンティング機器

増減率(為替影響除く)

米州	△0.4%	(△1.3%)
欧州	+12.7%	(+5.8%)
アジア他	+23.6%	(+16.4%)
日本	+3.4%	(+3.4%)

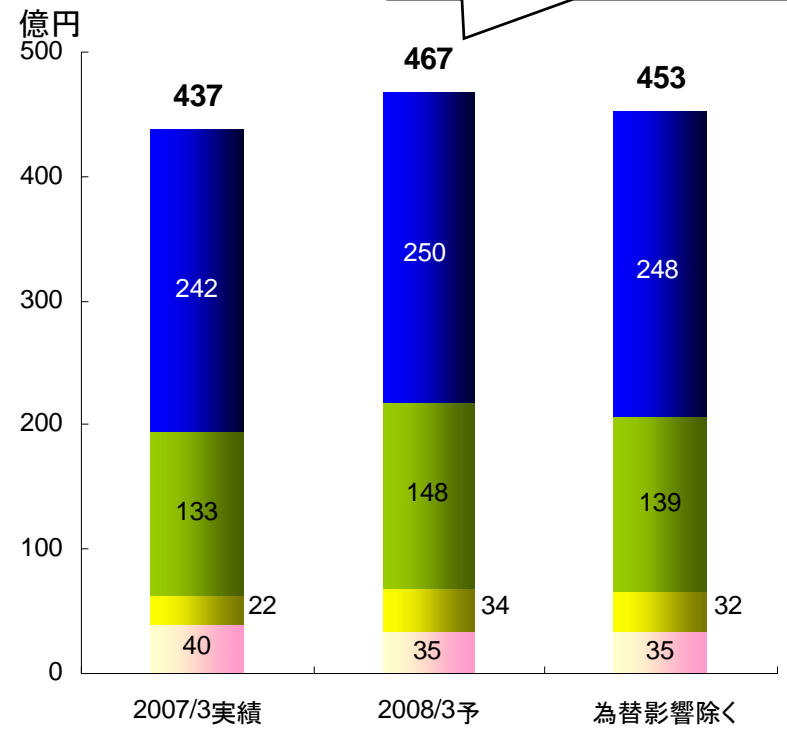


➤ 欧州、アジアを中心に堅調に推移し、増収となる見込み

電子文具

増減率(為替影響除く)

米州	+3.5%	(+2.5%)
欧州	+11.5%	(+4.8%)
アジア他	+52.8%	(+42.1%)
日本	△12.3%	(△12.3%)



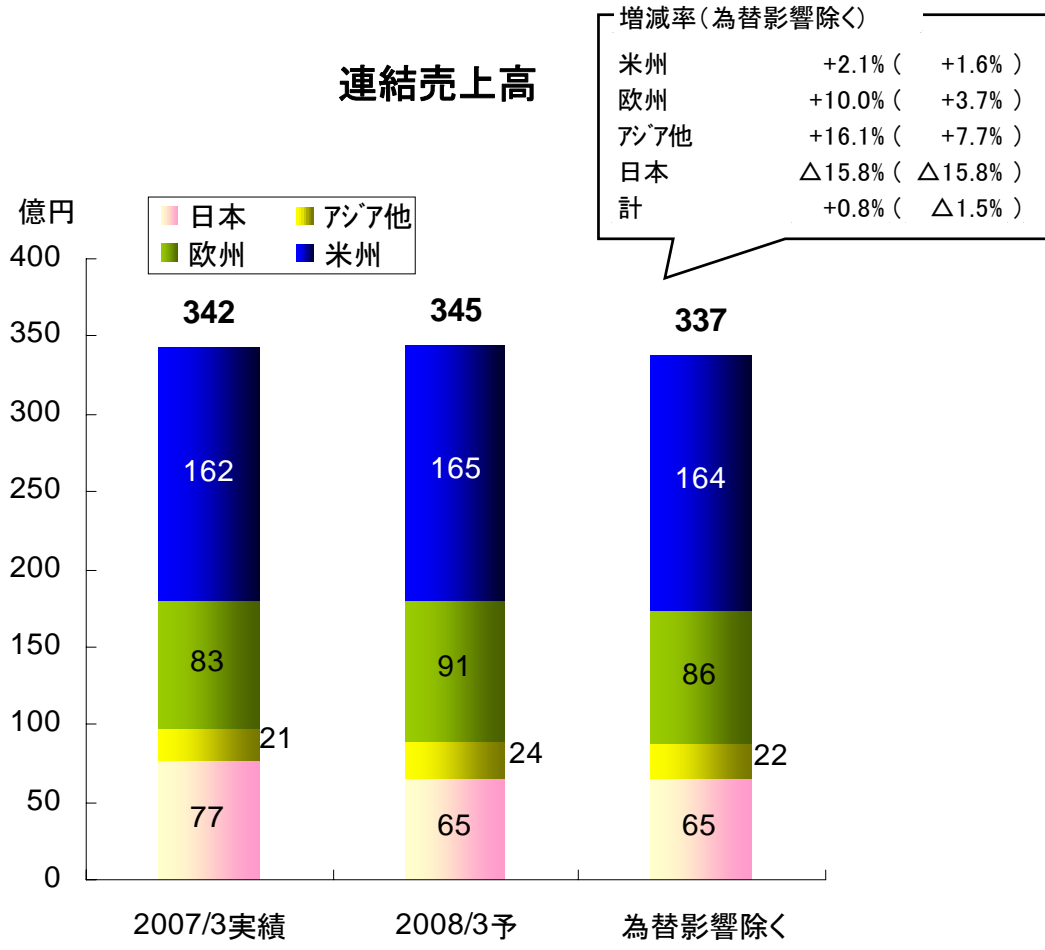
※2007年3月期に日本出荷として「日本」に計上していた部品売上は、商流変更により、2008年3月期より「アジア他」に含めております。

➤ 各地域で堅調に推移する見込み

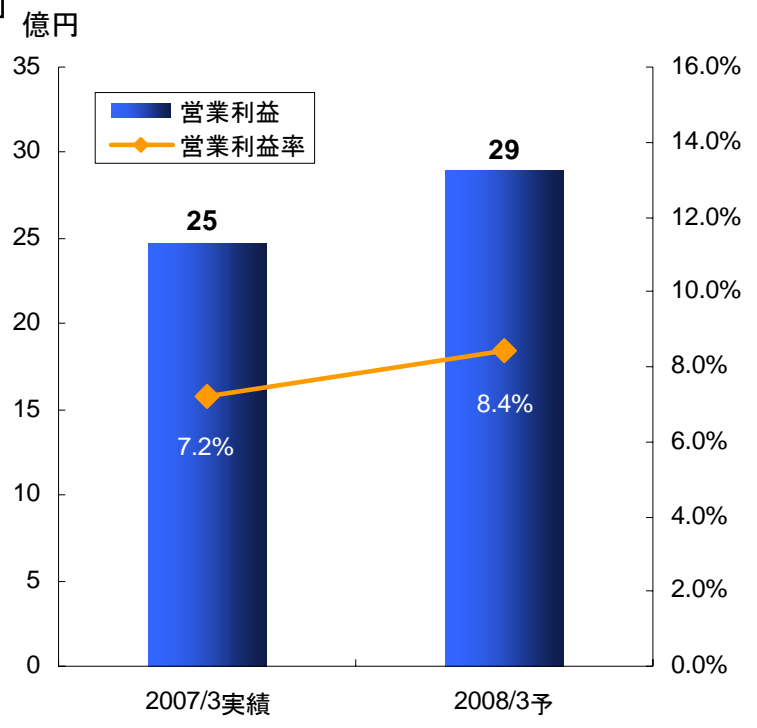
5-2. パーソナル&ホーム事業

地域別売上・営業利益 <2008年3月期 通期予想>

連結売上高



営業利益



➤ 日本で減少するものの、その他の地域で堅調に推移し、全体では前期並みを見込む

➤ 売上構成の改善により増益の見込み

5-3-1. マシナリー&ソリューション事業

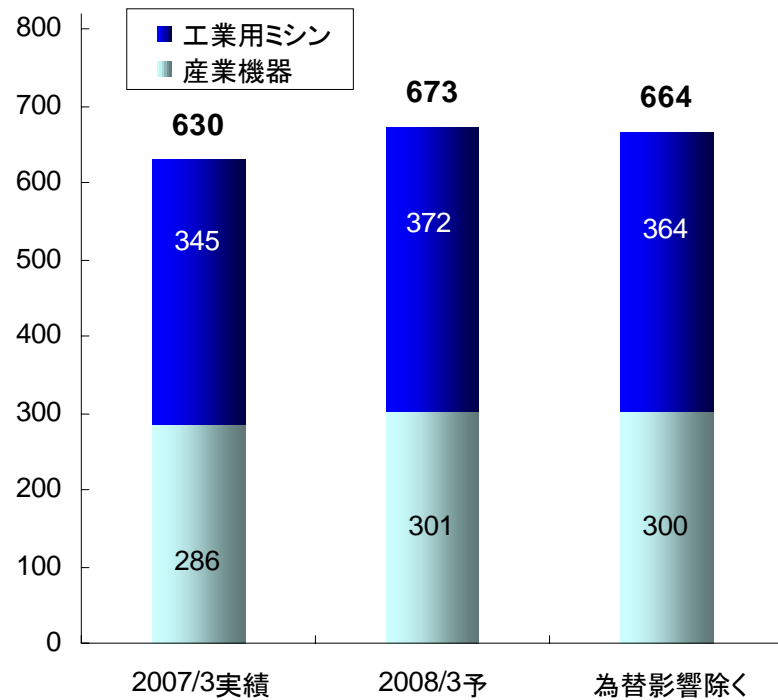
売上・営業利益 <2008年3月期 通期予想>

増減率(為替影響除く)

工業用マシン	+8.0%	(+5.7%)
産業機器	+5.4%	(+5.1%)
計	+6.8%	(+5.4%)

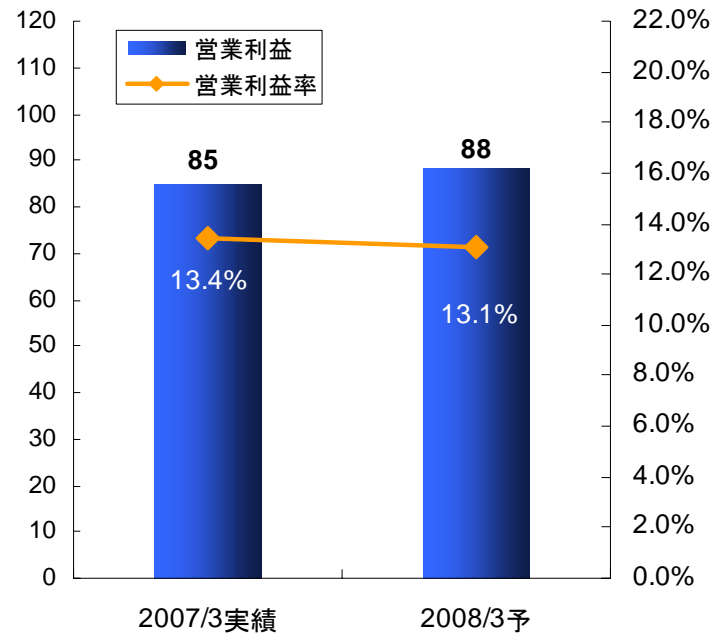
連結売上高

億円



営業利益

億円



➤ 工業用マシン、産業機器ともに増収となる見込み

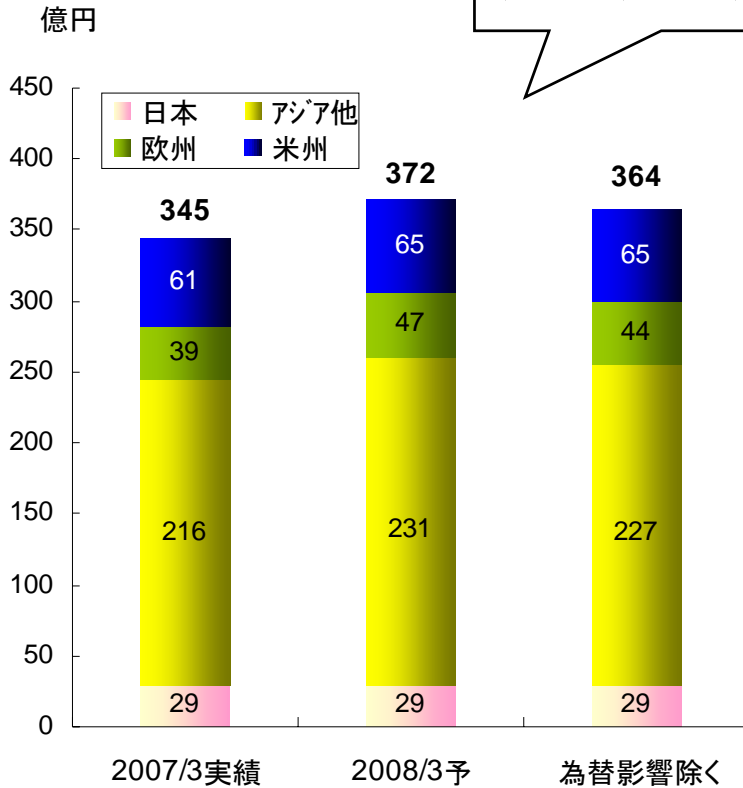
➤ 主に増収効果により増益の見込み

5-3-2. マシナリー&ソリューション事業

地域別売上高 <2008年3月期 通期予想>

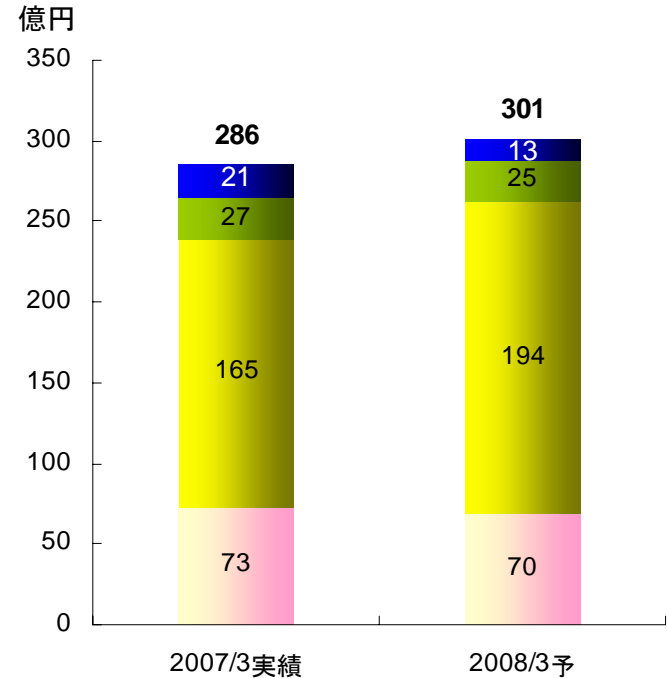
工業用マシン

増減率(為替影響除く)		
米州	+5.8%	(+5.2%)
欧州	+21.1%	(+13.1%)
アジア他	+7.1%	(+5.1%)
日本	+1.1%	(+1.1%)



➤ アジアで堅調に推移し、増収となる見込み

産業機器

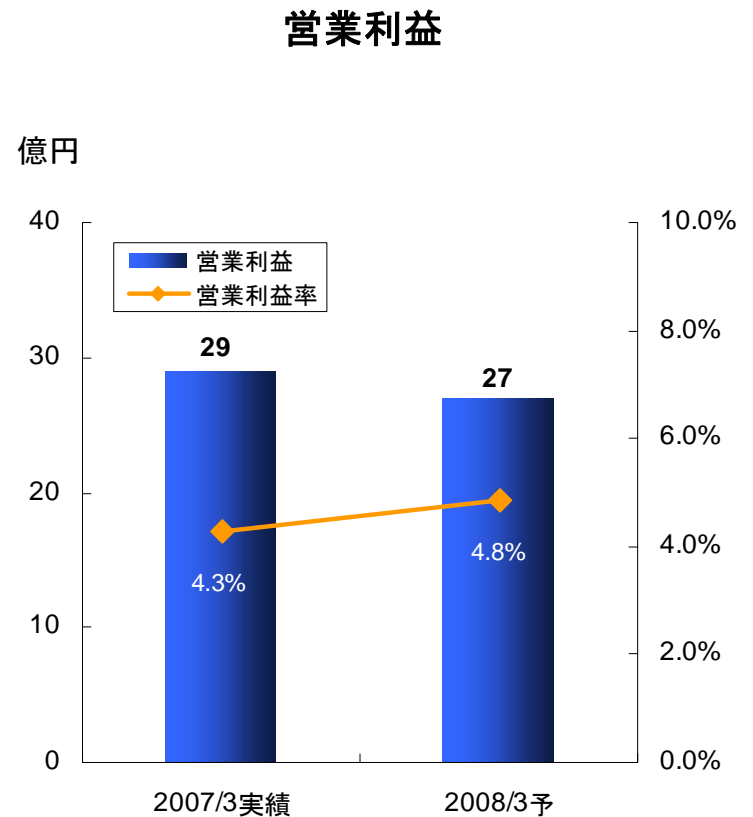
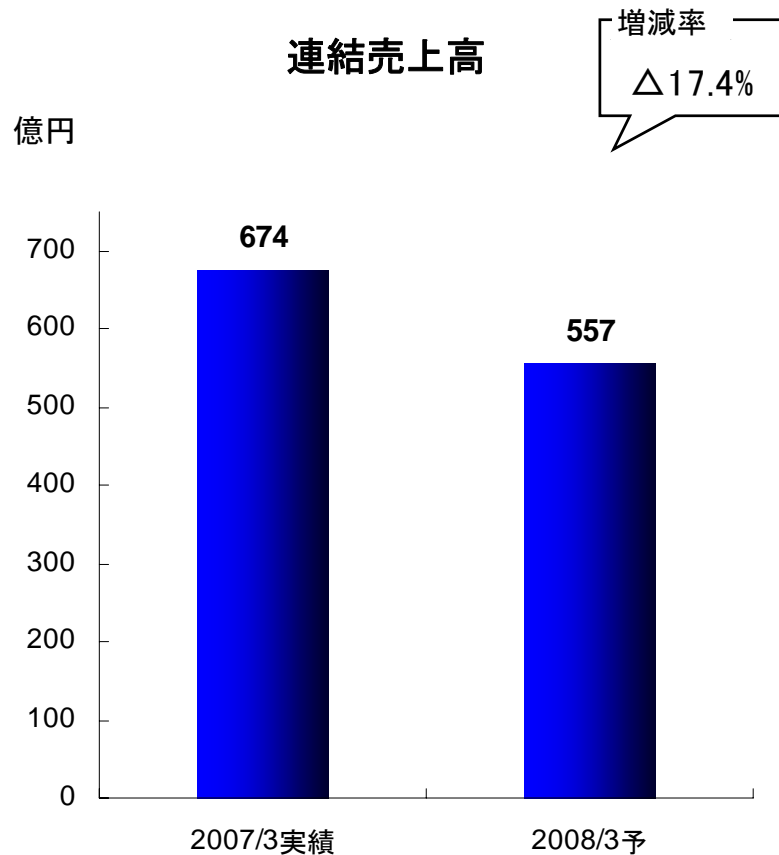


※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

➤ 主に中国向けで増収となる見込み

5-4. その他事業

売上・営業利益 <2008年3月期 通期予想>



- 訪問販売事業の譲渡とPC等販売子会社の譲渡などにより、減収となる見込み

- ほぼ前年並みとなる見込み

※その他事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

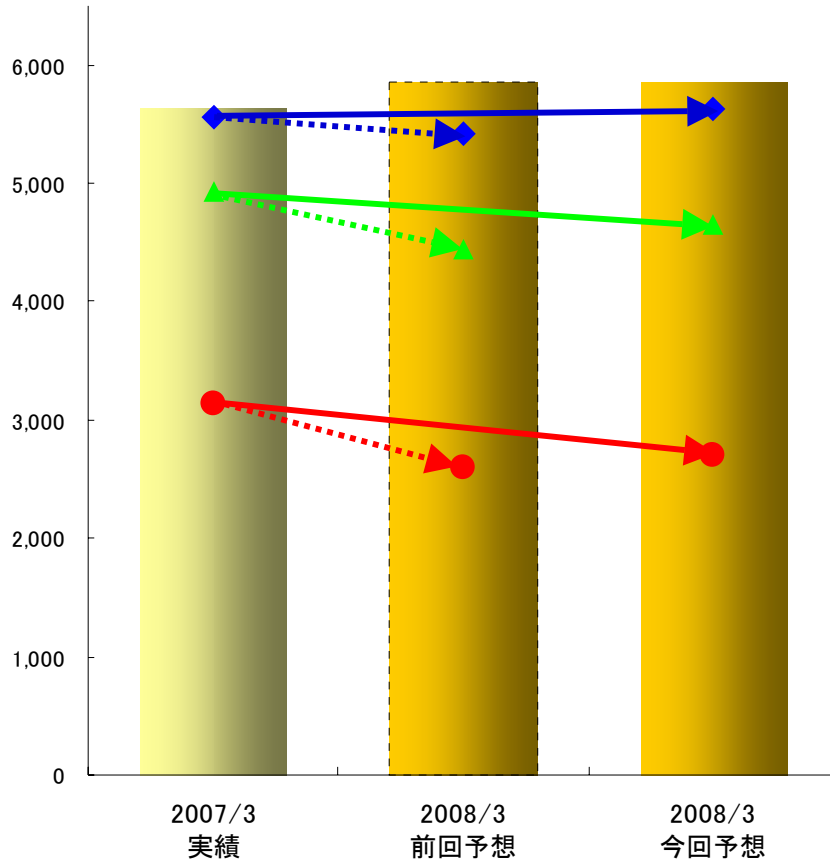
2008年3月期修正予想と 経営課題について

2008年3月期予想について

億円

売上高

■ 売上高 ◆ 営業利益 ▲ 経常利益 ● 当期純利益



利益

	2008年3月期予想	対前回予想(8/1)増減		対前年実績増減	
売上高	5,850	-	-	+227	+4.0%
営業利益	520	+20	+4.0%	+7	+1.5%
経常利益	430	+20	+4.9%	△25	△5.5%
当期純利益	250	+10	+4.2%	△39	△13.4%

対前回予想比較の主なポイント

- 売上は、全体では前回予想通りを見込む
- 利益は、主に設備投資の遅れによる償却費の見込み減などにより、前回予想を上回る。
- 研究開発費、設備投資には、年間で大きな変更なし

ドル/ユーロ 117/150 117/161 117/161

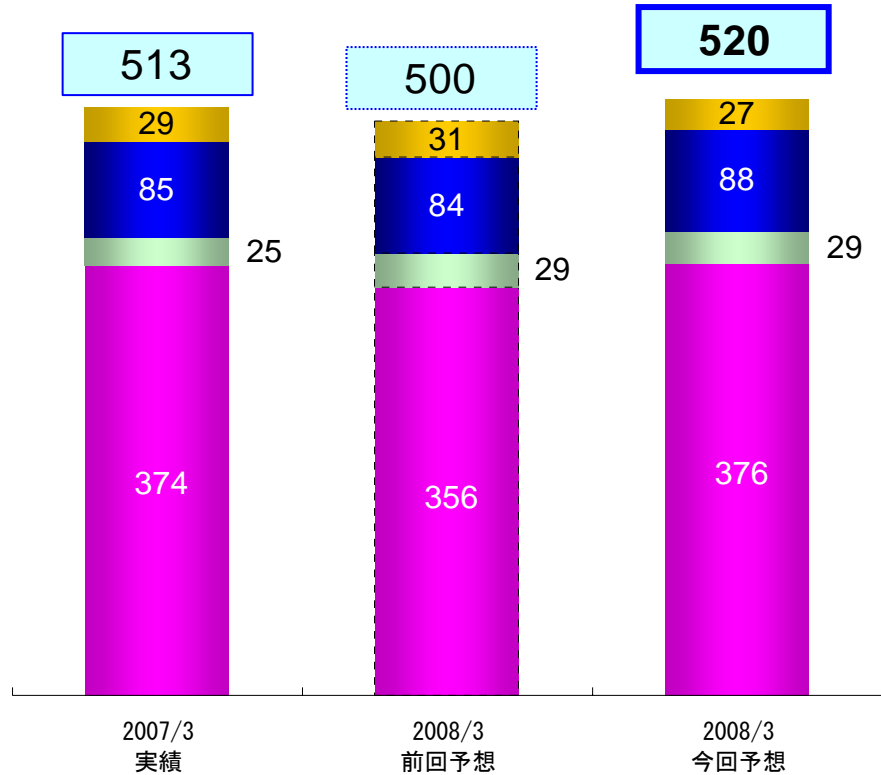
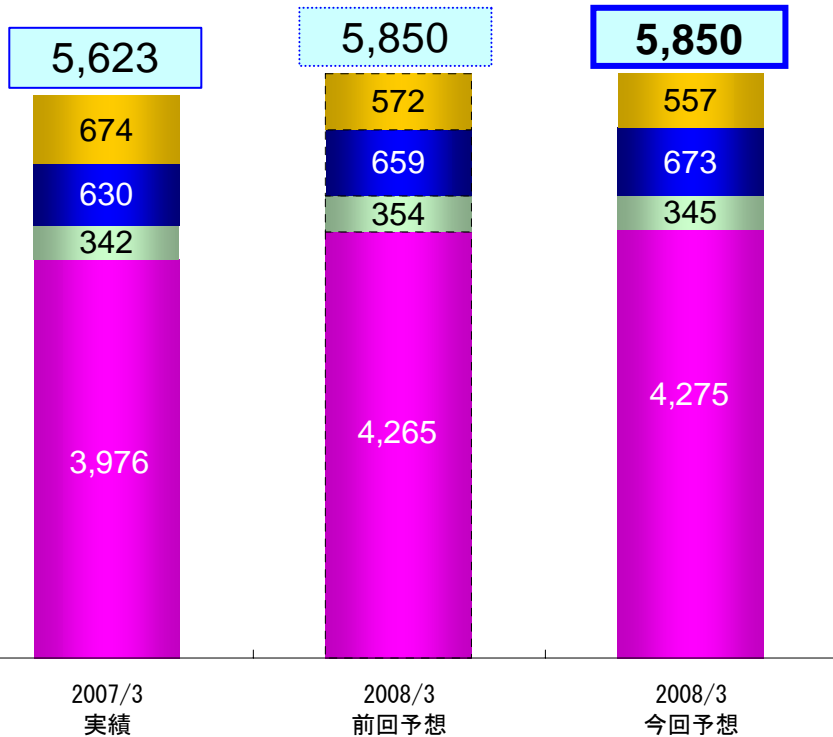
セグメント別売上・営業利益

売上高

億円

営業利益

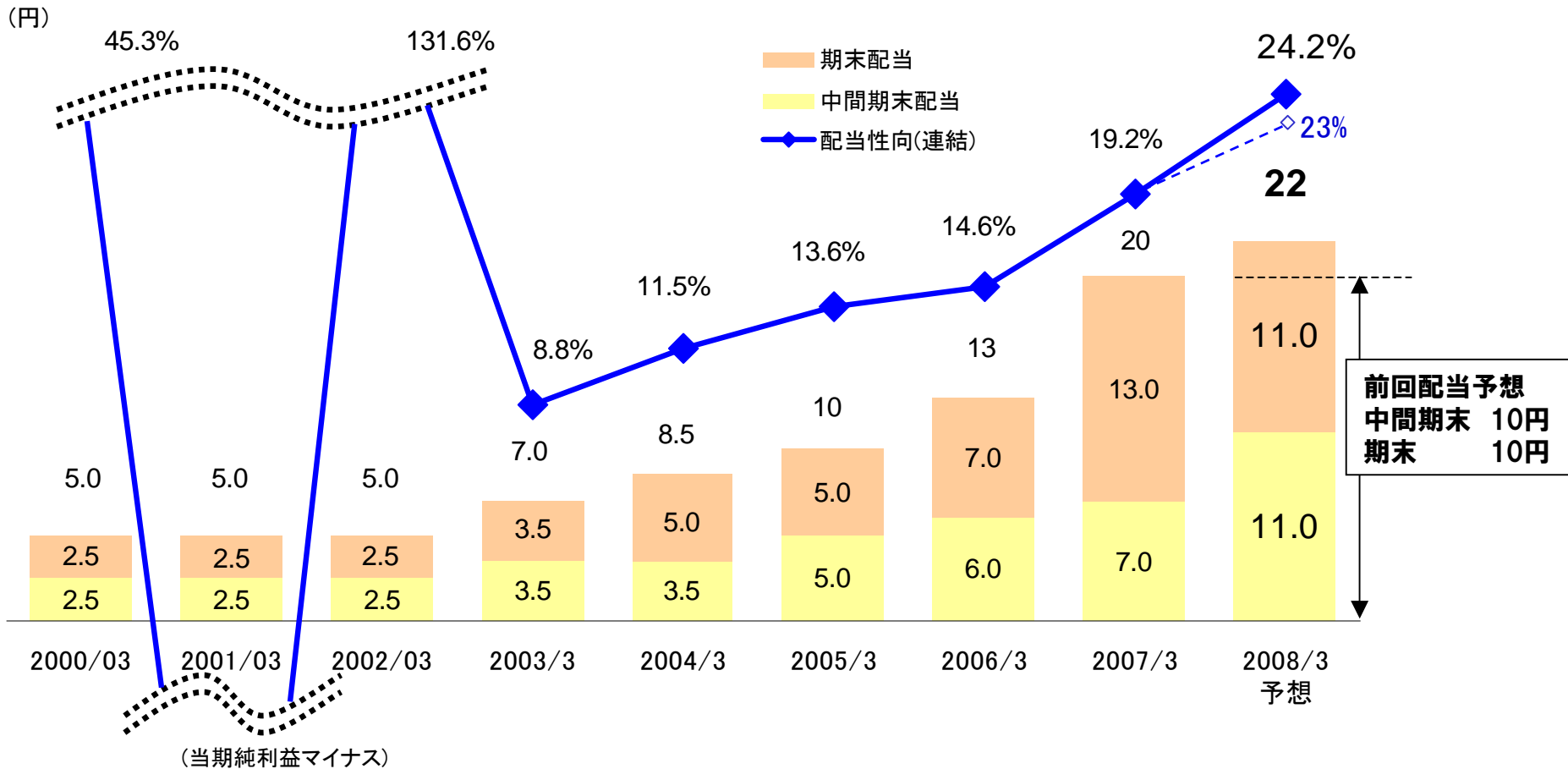
億円



■ プリンティング&ソリューションズ ■ パーソナル&ホーム
■ マシナリー&ソリューション ■ その他

プリンティング&ソリューションズ: ファクス、複合機、プリンタ、電子文具
 パーソナル&ホーム: 家庭用ミシン
 マシナリー&ソリューション: 工業用ミシン、産業機器
 その他: 通信カラオケ/コンテンツ事業、
 その他製品・不動産販売等

配当金・配当性向推移



年間配当予想22円へ増額、配当性向24.2%へ

**プリンティング事業の拡大
「カラーのブラザー」のポジション確立**

新事業の育成

重点課題の進捗

プリンティング事業の拡大
「カラーのブラザー」のポジション確立

HL-4040CN



HL-4050CDN



HL-4070CDW



DCP-9040CN



MFC-9440CN



MFC-9840CDW

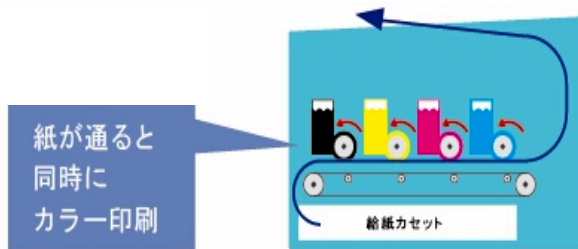


自社エンジン搭載のカラーレーザー複合機も発売開始
米国に続き、欧州・アジア・日本と世界中へ展開

重点課題の進捗

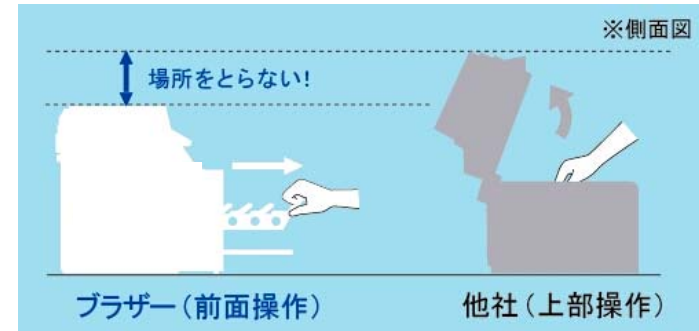
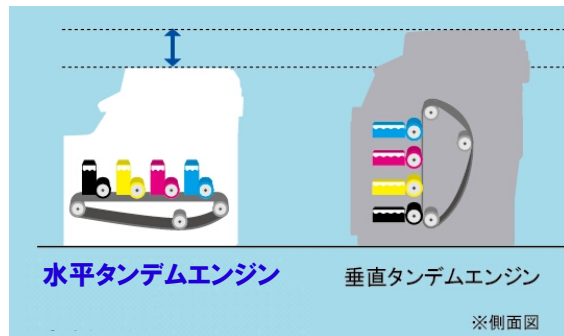
プリンティング事業の拡大
「カラーのブラザー」のポジション確立

カラー/モノクロ 21枚/分の高速プリント※1



高さ「世界最小の48.2cm」※2

「フロントオペレーション」だから、使うときもコンパクト



カラー/モノクロ共に21枚/分の高速印刷
高さ世界最小で、使うときもコンパクトなデザイン

※1レターサイズでの印字速度

※2 A4カラーレーザー複合機(ADF付)において、2007年8月ブラザー調べ

重点課題の進捗

プリンティング事業の拡大
「カラーのブラザー」のポジション確立

企業内ワークグループ



企業の支店・営業所



チェーン店舗



企業の中のSOHO的空間で高まる
カラープリンティングのニーズをターゲットに

重点課題の進捗

**プリンティング事業の拡大
「カラーのブラザー」のポジション確立**



TV広告



屋外広告



店頭POP・プロモーション



積極的に販促活動を展開し、認知度を高めて行く

重点課題の進捗

新事業の育成

オンデマンドICタグラベルプリンタ

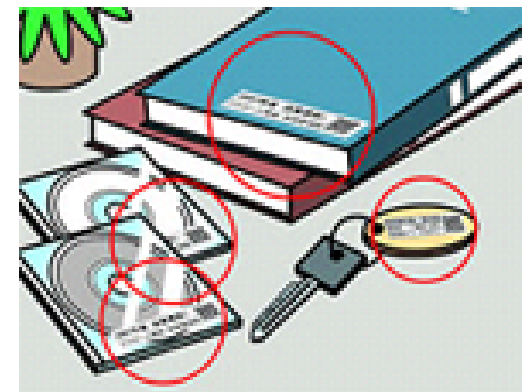
RL-700S

P-touch[®]
R

内蔵リーダライタ

人管理

物管理



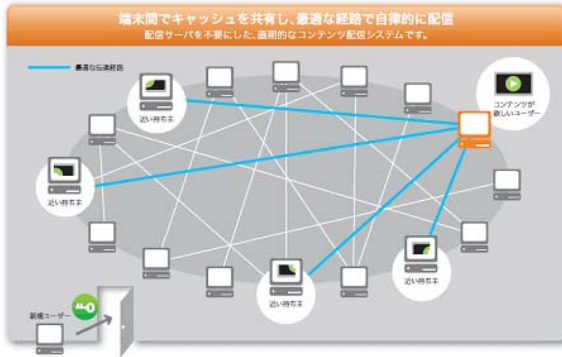
ICタグラベル
プリンタ



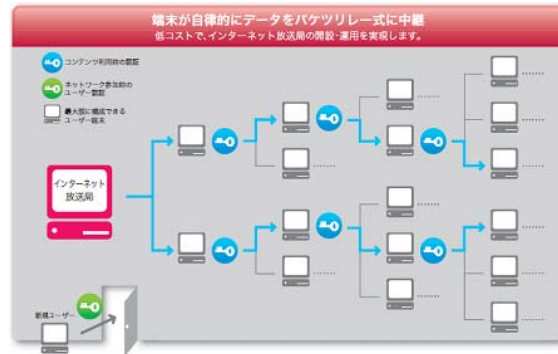
SIなどパートナーを開拓し、小ロットのICタグ需要に対し
ソリューション提供を目指す

重点課題の進捗

新事業の育成



IPオンデマンド配信システム
「Einy On-Demand」



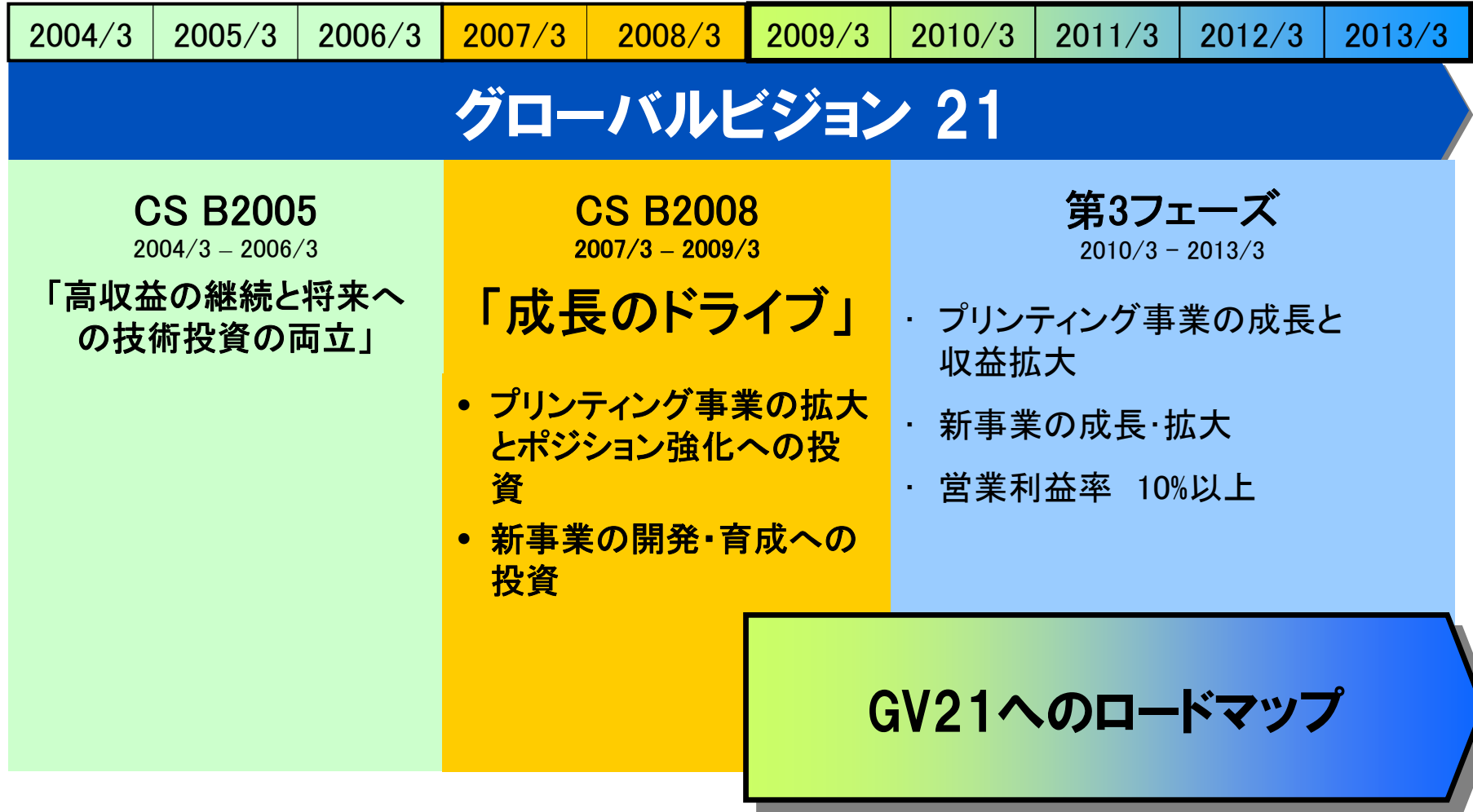
IPストリーミング放送システム
「Einy Broadcast」



CEATEC JAPAN 2007

次世代コンテンツ配信システムを「Einy(アイニー)」と名付け
サービスパッケージを発表、CEATEC JAPAN 2007参加

グローバルビジョン21へのロードマップ



brother *At your side.*